



花粉の少ない森づくりを応援しよう！

# づくり支援倶楽部会報誌

26年度秋号

第24号

発行日：平成26年11月20日



- CONTENTS -

【特集】スギ花粉症の新治療法「舌下免疫療法」	
10月から保険適用	1
「花粉の少ない森づくり」(主伐事業)	
—9年目を迎えたスギ花粉対策の概要—	2
企業の森活動報告	3
第4回「とうきょう森づくり貢献認証制度」認証書授与	5
平成26年度 森づくり支援倶楽部会員イベント活動報告	
「東京マラソンの森(八王子)」植樹会	6



## スギ花粉症の新治療法「舌下免疫療法」10月から保険適用

2015年春の花粉飛散予測の第一報が10月8日に日本気象協会より発表されました。それによると、花粉の飛散数は関東や東北では2014年の春より非常に多くなる所があると見込まれ、特に東京では2倍以上の飛散数になるとのことです。

今年1月に開催された第8回「花粉の少ない森づくり運動」推進委員会（会報誌21号参照）でも話題になったスギ花粉症を治す「舌下免疫療法」経口新薬が、この10月に、健康保険の対象になりました。スギ花粉症に苦しむ多くの患者の皆様には朗報です。専門医の下で新たなスギ花粉治療が開始されることとなります。

この度、花粉症治療、とりわけ「舌下免疫療法」の第一人者である日本医科大の久保公裕教授（耳鼻咽喉科）にお話を伺いましたので、ご紹介します。

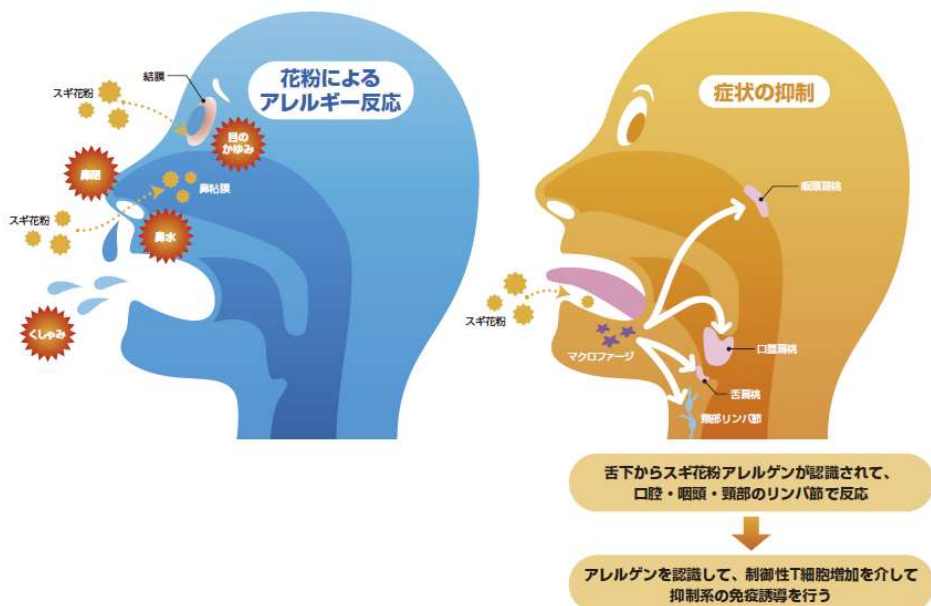
花粉症はアレルギー疾患のひとつです。からだの免疫機能がスギ花粉を異物とみなして、体外に排除しようと働き、細胞がヒスタミンと呼ばれる化学物質を放出して、鼻水やくしゃみなどの防御反応を起こします。治療法はこれまで、マスクなどを使用したり、抗ヒスタミン剤を服用し、一時的に症状を和らげる対症療法が中心でした。

一方、根治療法としては、アレルギーの原因物質を少量ずつ投与し、体質を変えるアレルギー免



疫療法があります。従来、花粉症でもスギ花粉のエキスを含む注射剤による免疫療法が行われてきました。ただ、治療開始からしばらく週1回程度の通院が必要で、注射の痛みなど患者の負担は大きいものでした。

今回の「舌下免疫療法」は、アレルギー免疫療法のひとつで、スギ花粉症の根治療法の本命といわれるものです。1日1回、スギのエキスを含んだ液体の薬を舌の下にたらしめます。アレルギーを



引き起こす原因となるスギのエキスを少しずつ口から体内に入れて、その量を徐々に増やして体をアレルギー物質に慣れさせる治療法です。

初診で検査し、スギ花粉症であることが確認できたら、最初の2週間で、薬に徐々に慣らし、その一定量を自分で服薬する簡単な治療法ですが、治療期間の2年間については、毎日（スギ花粉のシーズン以外にも）欠かさず薬を服用する必要があります。服用する薬の量や投与方法などを、患者自身が管理し、医者と患者がいっしょになって取り組む医療です。

従来の治療法で十分な症状改善が見られなかった方、従来の治療法はそれぞれの理由で受けられなかった方にとっては、辛い症状を緩和する唯一の治療法となる可能性があります。患者負担は、3割負担の方で、薬剤だけならおよそ月1,000

0円程度だということです。治療は飛散シーズンの3ヶ月前に開始する必要があり、来春のスギ花粉症予防には遅くも12月初旬には受診する必要があります。詳しくは、花粉症の舌下免疫療法を受けられるお近くの病院リストをインターネットで検索してみることをお勧めします。

北米のブタクサなど世界の花粉症の多くは自然の植生が原因で起こっています。これと比べて、日本の花粉症は植林が原因になっており医学的にも非常に珍しいケースです。

最後に、大久保教授から「根治療法の“舌下免疫療法”の患者にも、より症状軽減に効果が期待できるスギ花粉症の発生源対策である“花粉の少ない森づくり運動”を応援しています。」とのエールをいただきました。

## 「花粉の少ない森づくり」（主伐事業） — 9年目を迎えたスギ花粉対策の概要 —

東京都農林水産振興財団では、スギ花粉発生源対策として、花粉を多く発生する樹齢35年以上のスギの立木を森林所有者から買い取り、伐採後、花粉の少ないスギ等を植栽し、20～30年間の保育を実施しています。

この「花粉の少ない森づくり」（主伐事業）は、平成18年度から開始され、今年で9年目を迎えました。森林所有者と主伐契約を結んだ面積は、平成25年度が86ha、平成18年度から累計で556haとなっています。（表参照）

伐採した木材は、貯木場へ集積した後に選別し、用途に応じて原木市場のほか、合板・チップ用材として出荷しています。

主伐材の販売量は12万m<sup>3</sup>に達しています。この木材販売量は約4,500戸の戸建て住宅の建築使用量に相当します。

主伐事業の契約実績（単位：ha）

年度	平成18	19	20	21	22	23	24	25	計
実績	29	52	61	74	92	80	82	86	556



### 企業の森・清和綜合建物(御岳)

清和綜合建物株式会社

7月12日(土)「下刈り」

参加人数：70名

指導員：NPO法人 森づくりフォーラム

参加者が多数となったため、「下刈り」と周辺の「自然観察」の2グループに分かれ、前半後半で交代して行いました。天候に恵まれ、良い汗をかきながら、雑草木に埋もれた苗木に注意しつつ、下刈り作業を行いました。



### 企業の森・ネットヨタ多摩(青梅市成木)

ネットヨタ多摩株式会社

7月15日(火)「下刈り・歩道整備」

参加人数：79名

指導員：東京・杉人の連

3年振りのイベントで79名の方々が参加しました。開会式の後、参加者は鎌や唐鍬を手に山道を1時間程登って作業現場に入りました。気温が30℃近くまで上がる暑い中で、たくさんの汗をかきながらの作業となりました。



### 新宿の森 あきる野(企業の森)

新宿区

8月23日(土)「下刈り」

参加人数：29名

指導員：NPO法人 森づくりフォーラム  
盆掘地区自治会

「新宿の森 あきる野」では、新宿区とあきる野市の交流も目的のひとつとなっています。大人の方々は下刈り作業で汗を流し、子どもグループは下刈り体験のほか、あきる野市の「コレンジャー」(子ども達)と一緒に環境活動を楽しむなど、盛りだくさんの一日となりました。



### 東京都交通局・100年の森(青梅)

東京都交通局

9月5日(金)「下刈り」

参加人数：12名

指導員：東京・杉人の連

前日までの涼しさが一変して日差しの強い日となりました。暑さと、急斜面での作業に、あちこちから「きつい!」との声が上がりましたが、終了後は、「日常なかなか出来ない体験。森を守る作業の大切さを実感できた」との思いも語られていました。



# 企業の森活動報告

企業の森とは、花粉の少ない森づくりに賛同した企業・団体が、募金や社員の方々による森林ボランティアを通じて”花粉の少ない森づくり”を行う事業です。平成19年度春に協定締結した第一号を皮切りに、現在、21の企業・団体が参加しています。

植栽から5~6年経った森では、5mを超えるほどに木が生長し、遠目からも森の形がわかってきます。

参加企業の多くが、森林整備の活動に積極的に取り組まれています。社員の方々自ら、山に登り植樹や下刈りなどの森づくりを行っています。今年7月から10月までに実施された企業の森のイベントをご報告いたします。

平成26年度実績(10月まで)  
イベント実施回数：21回  
参加のべ人数：741名

### 企業の森・リコーロジスティクスグループ(御岳)

リコーロジスティクス株式会社

9月6日(土)「下刈り」

参加人数：36名

指導員：NPO法人 森づくりフォーラム

9月となり背丈を超える雑草木を刈る作業でした。蒸し暑い中、埋もれた広葉樹の苗木を探しながら、作業は進められました。ケガや蜂刺されもなく無事終了となりました。



### 日野自動車 70周年の森(御岳)

日野自動車株式会社

9月20日(土)「下刈り」

参加人数：38名

指導員：東京・杉人の連

夏の暑さから気温が少し落ち着いた曇り空のもと、下刈り作業を行いました。目印棒やテープを頼りに、残す苗木を確認しながら作業しました。精力的な作業により、作業後は、雑草に覆われていた植栽木がしっかりと姿を現しました。



### 企業の森・公益社団法人青梅法人会(長淵)

公益社団法人青梅法人会

10月2日(木)「下刈り」

参加人数：10名

指導員：東京・杉人の連

「企業の森・公益社団法人青梅法人会(長淵)」(通称「ふれあいの森」)は、3年目を迎えました。当日は、多少雨の心配もありましたが、幸い天候に恵まれ、順調に下刈り作業を行うことができました。参加者の中には下刈りの経験者も多く、予定より早めに、気持ちの良い汗をかいて終了しました。



### 企業の森・東芝(御岳)

株式会社東芝 青梅事業所

10月4日(土)「歩道整備・倒木処理 他」

参加人数：43名

指導員：東京都森林組合

秋の台風が関東に近づくなか、今年2月に降った雪の影響で荒れてしまった歩道の整備を行いました。過去に歩道整備を経験されている方々も多く、手際よく作業が進みました。作業後は整備した歩道を下山して、綺麗になった事を実感できたようでした。





## 第4回「とうきょう森づくり貢献認証制度」認証書授与

東京都では、森づくり活動を行う企業・団体や多摩産材を積極的に利用する企業等に対し、東京の森づくりへの貢献と二酸化炭素吸収量及び二酸化炭素固定量を認証する「とうきょう森づくり貢献認証制度」を実施しています。

認定・認証された企業等には、東京都から貢献認証書が授与されます。また、当制度の認証マークを広報媒体等に使用することができ、森づくりに貢献している企業としてPRすることができます。さらに、東京都の関連するホームページ等を通じ、活動の内容や企業情報を紹介します。

このたび、森林整備サポート認定など合計11件、4団体から申請がありました。審査の結果、この4団体、11件を認証することとなり、第4回認証書授与式として9月17日に執り行われました。



### 森林整備サポート認定

企業等が実施・協賛した下刈り、除伐、間伐等の森づくり活動による二酸化炭素吸収量を、東京都が認定します。

企業・団体名	認定の対象となる施業	認定対象森林面積 (ヘクタール)	二酸化炭素吸収量 トン-CO <sub>2</sub>
黒田電気株式会社	下刈	0.47	58.68



### 什器による二酸化炭素固定量認証

多摩産材を用いた什器の二酸化炭素固定量を、東京都が図面認証します。

また、認証された什器を購入（二酸化炭素換算で1,000キログラム以上）した企業等を、東京都が貢献認証します。

企業・団体名	品名	多摩産材使用材積 (立方メートル)	二酸化炭素固定量 キログラム-CO <sub>2</sub>
帝国器材株式会社	ワークデスク外8件	(例)ワークデスク 0.04067/個あたり	(例)ワークデスク 29.7/個あたり

### 建築物による二酸化炭素固定量認証

多摩産材を用いた木造建築物の建築主等には、建築物による二酸化炭素固定量を、東京都が認証します。

多摩産材を用いた建築物の住宅生産事業者等には、東京の森づくりへの貢献を、東京都が認証します。

建築主等・住宅生産事業者等	工事種別	多摩産材使用材積 (立方メートル)	二酸化炭素固定量 トン-CO <sub>2</sub>
建築主等：昭島市 住宅生産事業者等：株式会社カトービルドシステム	新築	2.4240	1.39

# 平成26年度 森づくり支援倶楽部会員イベント活動報告 「東京マラソンの森（八王子）」植樹会

- 開催日：平成26年10月18日（土）
- 参加人数：19名  
チャリティーランナー3名、同伴者3名  
森づくり支援倶楽部会員7名  
一般参加者等6名
- 植栽樹種：広葉樹 240本  
（クヌギ、コナラ、イロハモミジ）
- 植栽面積：0.16ha



「絶好の植樹日和です！」

八王子市下恩方町にある「東京マラソンの森(八王子)」において、第3回目の植樹会を行いました。

雲ひとつ無い秋晴れの下で植樹体験を行いました。植樹地には石が多く、掘りづらさに苦戦することもありましたが、指導員の指導の下、予定した240本の広葉樹を植え終えることが出来ました。植樹後には、これからの木の成長や花粉の少ない森づくりがどうなっていくのかが楽しみだ、などが話題になっていました。

午後からは、昨年までの植栽地における自然観察と八王子城跡の二つのコースに分かれてガイドウォークを行いました。自然観察コースでは、植樹から1～2年が経過した苗木の成長を確認したり、植栽地からの眺望を楽しみました。また、城跡コースでは、植栽地周辺の森林と八王子城の石垣など、当時の面影を残す登山道の散策を楽しみました。



森の未来を思いつつ苗木を一本一本植え付けました。



自然観察ガイドウォーク 八王子城跡ガイドウォーク(本丸跡)

## 《 参加者からの声 》

- 初めての参加でしたが、時間にゆとりもあり楽しかったです。次回も参加したいと思います。
- 大変有意義な企画で子、孫に継承するため今後も是非継続して実施お願いします。
- ガイドウォークはとても良かったです、その時代に行ったような楽しい時間でした。
- 植樹は初めてでしたが、また参加したいと思います。



参加記念品のペン立て  
(多摩産材木工品)

この度はイベントにご参加いただき誠に有り難うございました。来年も森づくりイベントを実施する予定です。またのお越しをお待ちしております。今回ご参加出来なかった会員さまもぜひご検討ください。

「東京がひとつになる日。」をキャッチフレーズ  
に開催されている東京マラソンは、ランナーだけ  
なく、多くの人たちを「ひとつにする」ことを目指  
し、“つなぐ”をコンセプトにチャリティを実施し  
ています。

寄付金は、様々な分野のチャリティ活動に使われ  
ます。公益財団法人東京都農林水産振興財団は、そ  
の寄付先のひとつです。東京マラソン2015チャリ  
ティ“つなぐ”を通じて、「花粉の少ない森づくり」  
に貢献できます。是非ご協力をお願いいたします。



**Run with Heart**

残るのは、タイムという結果だけじゃない。

《寄付金》

募集期間：平成27年 3月31日(火) 午後5時まで  
寄付金額：任意  
※事務手続きの関係上、1万円単位での受付  
申込方法：インターネット  
東京マラソン2015公式ウェブサイト  
<http://www.tokyo42195.org/2015/charity/>  
支払方法：銀行振込のみ

東京マラソン2015チャリティ“つなぐ”  
<http://www.tokyo42195.org/2015/charity/>

【東京マラソン2015チャリティ“つなぐ”お問い合わせ事務局】  
電話：03-5474-2091 (平日 午前10時～午後5時 ※土日祝日、平成26年12月22日～平成27年1月2日を除く)

公益財団法人東京都農林水産振興財団は、東京マラソン2015チャリティ“つなぐ”事業の寄付先団体です。

賛助会員のご紹介

～私たちは、「花粉の少ない森づくり運動」に賛同しています～

賛助会員を随時募集しています! (年会費50,000円)  
会費は、「花粉の少ない森づくり」に役立てられます!

**立山産業株式会社**

〈本 社〉  
〒197-0011 東京都福生市福生 973  
TEL: 042-553-9111 FAX: 042-553-9152  
URL: <http://www.tateyama-net.co.jp>  
E-mail: [eco@tateyama-net.co.jp](mailto:eco@tateyama-net.co.jp)

**新東京木材商業協同組合**

理事長 内田 鉄夫  
〒171-0044 東京都豊島区千早 1-20-13  
URL: <http://www.zaimokuya.or.jp/>  
TEL: 03-3959-7811  
FAX: 03-3958-3592

東京の森づくりを応援します



不動産コンサルティングのNO.1企業を目指す!!

**環境ステーション**

TEL: 03-3561-4755  
東京都中央区銀座 1-8-14

“考えます木材流通を前向きに”  
**東京材木商協同組合**

〒111-0052 東京都台東区柳橋2丁目19番8号  
URL: <http://www33.ocn.ne.jp/~zaisho/>  
TEL: (03) 3862-7081  
FAX: (03) 3864-9123

～木を育てたい。だから木を使おう。～  
**一般社団法人東京都木材団体連合会**

会長 吉条 良明  
〒136-0082 東京都江東区新木場 1-18-8  
URL: <http://homepage3.nifty.com/tomokuren/>  
TEL: (03) 5569-2211 FAX: (03) 5569-2233

**東京木材問屋協同組合**

理事長 吉条 良明  
〒136-0082 東京都江東区新木場 1-18-8 木材会館  
URL: <http://www.mokuzai-tonya.jp/>  
TEL: (03) 5534-3111 FAX: (03) 5534-7711

「東京の木の紙」のお問い合わせは

**4030 株式会社 シオザワ**

〒104-0043 東京都中央区湊 3-4-11 4030ビル (第二営業部)  
TEL: 03-3551-6201 FAX: 03-5541-7725  
URL: <http://www.shiozawa.co.jp>

多摩産材と暮らそう!



**パネ協**  
日本住宅パネル工業協同組合  
Japan Housing & Components Manufacturers Co-Operative  
東日本支所  
〒113-0021 東京都文京区本駒込 6-15-7  
Tel: 03-3947-7611 Fax: 03-3947-7627  
URL: <http://www.panekyo.or.jp>

公益財団法人東京都農林水産振興財団

森づくり支援倶楽部事務局

〒198-0036 東京都青梅市河辺町 6-4-1 青梅合同庁舎 3階

TEL: 0428-20-8153 <http://www.tokyo-aff.or.jp/club/index.html>

E-mail: [moriclub@tdfaff.com](mailto:moriclub@tdfaff.com)